

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年10月4日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	467040185
法人名	社会福祉法人 明星福祉会
事業所名	南方園グループホームけやきの里
所在地	鹿児島県枕崎市まかや町679番地 (電話) 0993-76-3461
自己評価作成日	平成30年8月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年9月20日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然環境に恵まれ、四季折々の景色が楽しめるけやきの里では、1年中、花を育てており、敷地の畑では職員と一緒に野菜を育て収穫をしたりと楽しみや生きがいに繋がっています。そして他施設との交流や行事に参加するなど地域の方々とのふれあいを大切にしています。毎月1回併設の交流センターを利用し喫茶店「けやきカフェ」を開店し飲み物と手作りのお菓子やケーキなど準備しご来店された方々に喜んでいただいています。また、庭にはけやきの大木があり、そこで日中はお茶会をしたり、花や景色を楽しみながらくつろいだりと憩いの場になっています。その他、レクリエーションや歩行訓練など日中の活動を支援して夜の安眠へと繋げて、みなさん健康で生き生きと穏やかな生活をされています。隣接する介護老人福祉施設と協力し、夏祭りや運動会など開催し地域との関わりをしています。防災訓練、職員研修なども積極的に参加し職員の質の向上に努めています。事業所内では認知症の方の思いに寄り添い、認知症の方が主体的に生活できるように認知症ケアの勉強会を毎月行い職員の知識や技術の向上に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は同敷地内に特別養護老人ホームやデイサービスセンター・生活支援ハウスなどが隣接しており、施設間交流や災害時の相互協力関係が整っている。
- ・同系列の協力医療機関による定期的な往診と職員看護師による健康管理や併設施設の看護師との連携も図り、緊急時の対応などが適切に受けられるよう支援している。
- ・法人行事の夏祭りなどに多くの地域の人々の参加がある。隣接する交流センターを地域に開放し、毎月「けやきカフェ」を開店して地域との交流を大切にしている。
- ・職員間のコミュニケーションが図られ、離職者も少ない。認知症ケアについて、毎月の勉強会で事例検討などを行い、資質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域との関わりを大切にすることを理念に掲げ、併設の事業所や他施設との交流会や行事に参加する機会を設けている。	法人共通の理念を基に事業所独自の理念と年度目標を掲げている。事業所内に掲示し、パンフレットにも掲載、名札にも記載している。申し送りノートや会議等で確認し、理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	買い物やドライブ、お墓参りの途中で地域の方々と会話をしたり、他グループホームや施設との交流会などを計画して行っている。また、毎月1回カフェを開店し様々な方との交流の場となっている。	月1回の「けやきカフェ」や交流センターを地域に開放し地域とのつながりを大切にしている。夏祭りなど法人全体の行事にも多くの地域住民の参加がある。幼稚園児や保育園児との交流・中学生の職場体験学習・ボランティアの受け入れ等で交流を深めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ご家族からの相談や見学者や実習生などを受け入れた時、認知症の理解やケアの方法など説明している。また市内の地域密着型の事業所で関わりを持ち、行政が主体となつて行う認知症カフェに職員が参加するなど地域貢献に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>出された意見や要望はミーティングで取り上げサービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況やヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告などを行い、情報を共有し、地域との交流を深めサービス向上に活かしている。そこでの意見で自主的な清掃活動等を行っている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎月現状報告を行い、待機者の情報交換を行っている。入退居がある場合や介護保険に関する事など担当の福祉課の方に相談し、ご本人やご家族の望まれる生活を考慮している。</p>	<p>市担当者とは、窓口に出向いたり、電話で事業所の実情や取り組みの報告や相談をして連携を深めている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>事業所内及び法人研修会に積極的に参加し定期的に理解を深めている。基本的には施錠はしないようにしているが、外へ出たがる方がおり職員体制が手薄になる時のみ玄関の施錠をしている。</p>	<p>法人全体での研修会や事業所内の会議で研修を実施している。事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束など日々確認し配慮している。昼間は玄関の施錠はせず、職員体制が手薄になる時、危険防止にやむを得ず一時的に施錠している。外出しそうな様子を察知したら、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所内及び法人研修会に積極的に参加し理解を深めている。また、認知症の理解に特に力を入れている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>事業所内及び法人研修会に積極的に参加し理解を深めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、生活やケアの方針に対する考え方や取り組みについて説明し、聞き取りをしている。退居についてもご本人やご家族の意見を聞くようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議やけやき便り、面会時などで現状を報告し意見や要望など伺うようにしている。出された意見や要望は、サービスに反映するようにしている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会や行事参加時・電話・運営推進会議時に、何でも言える雰囲気作りをしている。髭剃りの支援や買い物支援などに反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月代表者へ現状報告や意見を述べる会議がある。事業所では気づきや感じたことをノートに書くようにしてミーティングで取り上げ検討し、サービスに繋げている。	管理者は申し送りやミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。出された提案を検討し、サービスに繋げている。月1回、代表者に報告し、反映を図るよう心がけている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の休憩時間をはっきり決め、時間外労働をしないように行事などがある日には勤務態勢を調整している。また、休みの希望や有休など可能な限り応えていくように勤務表を作成している。やむなく超過勤務をする場合には手当をつけている。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実務者研修やリーダー研修、その他外部の研修の参加や外部講師を招いての法人勉強会を開催している。事業所内でも毎月勉強会を行い、研修記録を記入して力量を把握している。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の地域密着型事業所の責任者や職員が集まって会議を開催し、顔の見える関係作りや地域貢献に向けた活動などに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に面接に出向いてご本人と話をしたり、見学などして頂き、ご本人、ご家族にここでの暮らしぶりを見てもらう機会を作っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	在宅での状況や以前の介護保険サービス状況について尋ね、事業所としてどのように対応できるか話し合い、ケアプランに反映している。また、契約時に不安なことや要望など聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族の要望があれば他のサービス（デイケア）などの利用も可能であることを伝えている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	おしぼり巻きや洗濯物たたみや料理など生活のなかでできる役割を持ってもらい、花壇の手入れや野菜作りなど職員・ご利用者と共に取り組み、お互いに支え合う関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やけやき便りにて生活状況を伝えている。必要に応じて文書や電話で連絡し、近況報告や要望を伺っている。行事の時はご本人とご家族と一緒に参加できるように案内をして機会作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物やドライブの時は、ご利用者の地元を通ったり、墓参りなど支援している。ご家族へも法事や親戚の集まりなどの時は、一時帰省や外泊を勧めている。	親戚や馴染みの友人・知人の面会がある。交流センターや併設の関連施設の友人とも交流している。ドライブや買い物の際には地元立ち寄り、馴染みの美容師の訪問など、継続的關係が途切れないよう支援している。電話や手紙の取次ぎなども行っている。家族の協力で外泊・外出・法事・墓参・理美容院利用などに出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶を入れ合ったり散歩の時手を差し伸べたりと仲の良い入居者同士、お互いに助け合いやすい座席の配置などを考慮している。また、入居者同士の会話が繋がるように職員が気配りしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の施設に面会に行ったり、カフェなどに誘ったりと関係性を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃のご利用者の表情や言動、またご家族からの情報を基にして、思いをくみ取るように努めている。	入居時に本人や家族から聞き取りや日々の生活の中で意見や要望を聞いて対応している。困難な場合は、表情を見ての声かけや、申し送りノート等で情報を共有して話し合い、職員間で本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居時のカンファレンス、ご家族の面会時や本人との語りの中で察したり伺うなどしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の表情や気分の観察を常に心掛け、好きなように過ごせることを支援している。その人のできることを、できそうなことを促している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の申し送り・気づきノートからケース記録、個別支援経過に記入し、ご本人、ご家族、職員を含めて話し合い、ご本人の望む生活を支えることを心掛けてケアプランを作成している。3ヵ月毎にモニタリングを行い、計画の見直しや修正を行っている。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も踏まえた担当者会議で、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、必要時に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送り・気づきノートをホールへ置きいつでも記入、観覧できるようにしている。ノートを基にミーティングや引継ぎ時の申し送りで取り上げ情報の共有を図っている。ケース記録に記入、必要に応じてプランの見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の状況に応じて、買い物やお墓参り、通院の支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>馴染みの飲食店や美容室、教会やお墓参りに行くことをご家族の協力ももらいながら支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族の意向を確認しながら、事業所の協力医や以前からのかかりつけ医と連携を取り、通院や往診など必要なときに、適切に医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>受診は、本人や家族の希望で、協力医療機関が主治医となっており、月1回の往診を受け入れている。職員看護師の健康管理や隣接施設の看護師との連携も図られ、緊急時の対応などに適切な医療が受けられるよう支援している。受診結果は家族と共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>専属・併任の看護師と連携し健康面の相談をしている。また、併設施設の看護師へ入居者の情報を提供し、緊急の場合など夜間も含めいつでも相談できる体制にある。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>協力病院の往診を受け、入院時も面会や電話で情報を共有している。報告会や交流会など病院関係者と関係を築ける場もあり、連絡体制も構築されている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の際にご家族へ重度化対応・終末期ケア対応指針を説明して理解を得ている。又、アンケートを取り、ご本人、ご家族の希望を踏まえて看護師や主治医、協力医の指導のもと希望に添えるよう努力している。</p>	<p>契約時に、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意を得ている。同法人施設の特別養護老人施設の紹介もしている。家族アンケートも活用して、状況変化に伴い意向を随時確認し、家族と方向性を共有できるように取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時は、看護師や隣接している施設の看護師などに協力をお願いし昼夜とも対応できるマニュアルを作成している。事業所勉強会でも年に1回以上手順の確認を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地震や土砂災害を含めた防災・避難訓練や消火訓練を併設の事業所や地域の消防団などと連携し実施している。全国防災訓練（水害）にも参加している。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、併設の事業所と合同で昼夜想定での土砂災害を含めた防災避難訓練を実施し、地域の消防団の参加もある。全国防災訓練（水害）にも参加している。非常災害用マニュアルがある。スプリンクラーや自動通報装置も設置している。園内には災害用の貯水タンク・米・食料品等の備蓄もある。地域住民20人分位の食料も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者一人ひとりの生活歴や認知症の程度、日頃の様子から読み取れる情報をミーティングなどで話し合い、プライドを傷つけない関わり方に心掛けている。	研修や勉強会を行い、誇りやプライバシーを守る言葉かけに取り組んでいる。入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症ケアの勉強会と合わせて自己決定の重要性の理解に努め、日頃の声掛けを本人主体になるように心掛けている。外出や入浴、活動など希望を伺いながら援助している。また、食事はアンケートを取り、結果を基に献立を立てている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・就寝時などそれぞれの時間で行動しており、普段の過ごし方や食事、入浴もその人のペースを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節毎に衣類を準備して、自分で選んでもらい、できない方は職員と共に選び、できないことは支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に食事作りや盛りつけなど行っている。又、パン作りやバイキング、外で食事をするなど企画し楽しい雰囲気作りに取り組んでいる。食事形態や量、好みも配慮している。	嗜好に配慮し、旬の食材で、個々に応じた食事形態を工夫している。準備や片づけを職員と一緒にいたりしている。誕生会や季節の行事食・庭でのお茶会など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	旬の食材を用い、野菜とタンパク質を多く使った食事を提供している。水分は味や温度など考慮し準備している。摂れにくい方へは本人が好むものを勧めている。また、天気の良い時は庭でお茶会をしたり屋内では音楽を流したり雰囲気作りにも努めている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、できる方へは声掛けにて口腔ケアを促し、できない方は義歯洗浄、仕上げ磨き、うがいなど支援している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録を基に入居者個々の習慣や機能に応じた排泄援助を行っている。可能な限りトイレで排泄できるように支援している。おむつ使用の方も漏れのないように種類の調整を行っている。	排泄パターンを把握して、誘導に気配りしながら、可能な限りトイレでの排泄を支援している。水分補給や運動等に気配りして自然排便や排尿を支援している。排泄用品も個々の状況に合わせて配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時のお茶の時はおやつに芋を使っている。食物繊維を多く取り入れた献立にしたり水分を多く摂ってもらえるよう工夫している。また、散歩や屋内での歩行訓練を毎日実施している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めているがご本人の希望や気分に合わせて柔軟に対応している。できる限り一人ひとりのペースでゆっくり入れるように努めている。	基本的には週3回、午後に入浴になっている。個々の体調や希望に応じて柔軟に支援し、状況に応じて同性介助で対応している。入浴を拒む利用者には、時間調整や職員の連携で入浴を楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床、就寝、昼寝などその都度ご本人に伺いながら希望に添った対応をしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理のファイルに一人ひとりの薬の説明書を綴っており、全職員がいつでも見れるようにしている。また、必要に応じてバイタルチェックの回数を増やし記録をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日常生活の中で掃除や洗濯物たたみ、食事作り、野菜や花作り、買い物など可能なことを一緒にできるよう支援している。また、事業所の行事、併設施設の行事がある毎に声を掛け気分転換や楽しみになっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>その日の希望で外出は職員体制によってできないことが多いが毎日の散歩や定期的にドライブ・買い物を実施している。家族へも外出を勧めており、連絡があれば準備や段取り、車の乗り降りなど安心して外出できるように支援している。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や公園・買い物・ドライブ等に出かけている。年間計画を立て、花見や遠足等に出かけている。家族の協力で外泊や外出・外食・理美容院利用・墓参などで出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望や能力に応じてお金の所持を支援している。所持が困難な方は預り金という形で職員が管理している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望や連絡したい様子が伺えたらその都度支援している。ご家族へも面会時などに了解を得ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	老人車や歩行器、車椅子の方の移動のしやすさや、過ごしやすい室温や湿度、換気に配慮している。また、庭に季節の花を植え、仏壇や玄関、ホールには季節の花を飾って水槽で金魚を飼っている。食事やお茶の時はオルゴールの音楽を流している。	共用空間は広々として、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。仏壇や玄関・ホールに季節の花が飾ってある。広いテラスでお茶会等を行い会話を楽しんでいる。季節感を大事にした飾りつけを行っている。オルゴールの音楽が流れ、ゆったりとしたソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはソファを置き、仲の良い人同士自由に話をしたり、テレビを観たり、本や新聞を読んだり、昼寝などされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅よりタンスや鏡台、座椅子や写真など使い慣れた家具や身のまわりのものを持ち込んで頂いている。又、各部屋にボードを設置してご本人の写真や作品を飾って不安なく暮らせるように支援している。	居室はエアコンとベッドが備え付けである。家具や寝具・遺影・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホールやトイレには手すりを取り付け、能力に応じてベッドに移動バーをつけたり、高さを調節したり一人で立ち上がったり移動しやすいように工夫している。また、自分の物や部屋がどれか困らないように見やすいように名前を書いている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない